

未来志向の日本語教育

日時：2019年2月16日（土）

12:00~16:50

場所：筑波大学 大学会館 国際会議室

使用言語：日本語

参加費：無料

参加申込：<https://goo.gl/forms/6M3nW2UQXECYsJVC2>



主催：筑波大学 CEGLOC 日本語・日本事情遠隔教育拠点
(mail: jp-kyoten@un.tsukuba.ac.jp)

プログラム

12:00 開会の挨拶

12:15 基調講演 コーパスで外国語教育はどう変わるか？
-「未来志向の日本語教育」のためにコーパスができること-
石川慎一郎（神戸大学）

13:20 休憩

13:40 ポスター発表（第1部）（80分）

「自然会話の提示方法に応じた気づきに関する実証的研究 -第三世代の会話教育方法構築のために-」 関崎博紀

「入門期学習者のための会話授業の試み -談話レベルでの会話教育の可能性を探って-」
陳一吟

「色彩語の日中対照研究 -「赤・青」の基本形と重ね型を中心に-」 陳祥

「語彙・表現を増やすためのデータ駆動型コンテンツ開発 -「トラブル」を例として-」
李文鑫・近藤弘・Alexander Tokarev・伊藤秀明・小野正樹

「クラスルームレクチャーとコンピュータ・インターネット教育の共存 -ビデオ制作授業とハイブリッドクラスを例に-」 関口美緒・White Tra'Main

15:00 休憩

15:20 ポスター発表（第2部）（80分）

「日本語教材：残るもの・消えるもの -SFJ作成から20数年経ての提言-」
酒井たか子・小林典子・西村よしみ・加納千恵子

「文脈に関わる文法・文体に着目した『作文ガイドブック』の開発」
木戸光子・加藤あさぎ・小池康・平形裕紀子・石川早苗・君村千尋

「学生が自ら考え日本を理解することをめざした読解作文授業 -総合日本語「読む書く6」の実践-」 中山健一

「フランスにおける日本語学科最終学年生の日本語学習動機 -個別インタビューから-」
三木杏子

「初級前半から始めるポスター発表 -教科書と異文化接触をつなぐ教室活動-」
堀恵子・鈴木秀明

16:40 閉会の挨拶

アクセス

つくば駅から大学中央行き、または筑波大学循環バス右回り（6番乗り場）に乗り、「大学会館前」で下車。

つくば駅からの所要時間は約15分です。

詳しいアクセス方法はこちらをご覧ください。

http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba_access.html

